おがつ いしのわ

雄勝いしのわプロジェクト

平成 25 年 6 月 10 日発行

No.1

～雄勝石産業を核とした場づくり、モノづくり、人づくり～

プロジェクト紹介

東北工業大学岩崎俊一理事長に雄勝硯贈呈

雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会

J. プロジェクト開始

オープンレクチャー開催

挨拶

本活動は、東日本大震災で被災した石巻市雄勝地区の再生のため、この地域の特有の資源である雄勝石を核とし、生産や暮らしの再生をめざすことを主課題としております。東北工業大学が中心となり、復興大学の支援を受け、雄勝硯生産販売協同組合、地域自治体、研究協力機関、地域住民の方々と共に地域復興支援を行うものであり、実践活動を平成 25 年 4 月から開始しました。

主テーマは『雄勝石産業の復活を核とした生産とくらしの再生』とし、雄勝地域の持続可能な社会づくりに向け、地域内外の他産業（水産・食・観光）との連携を図りながら、「場づくり（拠点構築）」「モノづくり（商品・流通開発）」「人づくり（人材 - 育成・交流）」を実践的に取り組んでいるところです。

今後は、私どもの諸活動を HP で多くの皆様に紹介すると共に、多くの皆様からの雄勝地域に対してのご支援を、末永く頂ければと願っております。

菊地 良覺

雄勝いしのわプロジェクト代表

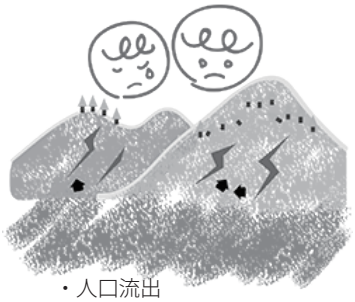
東北工業大学　ライフデザイン学部
安全安心生活デザイン学科　教授

プロジェクト紹介

本プロジェクトは「雄勝石産業の復活を核とした生産とくらしの再生」をテーマに
三井物産環境基金 2012 年度下半期活動助成（復興助成）の採択を受け活動を実施しています。

プロジェクト活動

3.11 による被害



・人口流出
・産業の喪失
・くらしや生業の再生が

東北工業大学と雄勝硯生産販売協同組合
による連携事業

未来

持続可能な社会へ…

プロジェクト計画

2013 年　　2015 年～

① 場づくり　拠点設備支援：平成２５年が主。
平成２６年、２７年は「場」を利用したワークショップ活動

仮設工房支援：石産業復活の場への足掛かり支援、集まれる場づくり（仮設工房建設助言 大学教員の参画）

① 資源調査　「場づくり」「モノづくり」「人づくり」の基本調査：３カ年調査事業
＊一部のワークショップを２５年度より開始

拠点づくりの為の調査

資源の『再評価、可視化』を目指し
「調和」や「展開」の基礎とする

有形無形の資源調査
・雄勝石産業と文化的価値、三陸山海資源の調和した暮らしの検証
・観光資源への結びつきや、住民主体の地域づくりの基礎データの収集

調査により雄勝の「資源価値」を顕在化
有形、無形の資源調査と検証
・有形資源：山資源、海資源、建築物、工芸品など
・無形資源：技、人、景観、歴史文化・民俗資料など

② 調和　平成２５年の活動をベースに、平成２６年から本格的に展開
地域内・外を対象とした「ワークショップ活動」

住民グループ
一般市民との
交 流 事 業
・食をテーマにした交流
・書（書道）を通じた交流
・学生参画を通じた石産業実践学習
・子供達との石を通じた交流、文化学習

③ 展開　「場づくり」「仕事づくり」「人づくり」のための幅広い事業展開

雄勝の魅力の再構築
歴史、風土、文化を活かした未来づくり
雄勝石工芸品の可能性の提案
主に組合と大学との産学連携研究開発
「石の産業」という魅力を活かす
商品開発、流通開発、観光政策の提案
※展示会支援などは２５年度より開始。

雄勝の持続可能な社会へ

初年度の活動内容は、①調査活動（スレート民家の広域調査と震災後の状況把握・住民や職人のヒアリング調査・歴史文化（法印神楽等）調査）②拠点施設計画（雄勝硯生産販売協同組合仮設工房の建設計画支援と設置機器類の情報整理）③販路拡大（県内外における企画展示会や販売会を視野に視察や打ち合わせ）④その他（仙台城南高等学校開校記念モニュメントの雄勝石活用・ワークショップ事業に向けて体験教室実施等）⑤広報活動（HP 開設・活動紹介パンフレットやパネル作成・ニュース発行）であります。

2 年度以降は、調査活動の継続・伝統産業会館の運営も含めた基本計画への参画・国内外も含めた企画展示会の実施・人材育成や商品開発を見据えたワークショップの開催・他産業との連携するワークショップの開催・実施内容紹介の広報活動等が主となります。

長期的課題としては、伝統産業を支えていく人材育成と運営主体の形成が主となりますが、当面の課題は、持続的な生業の形成となります。

雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会

東日本大震災で町の中心部が壊滅状態となった石巻市雄勝町の雄勝石（国指定伝統的工芸品の雄勝硯, スレート・クラフト製品等）生産に関わる復興に向けたビジョンを策定するために雄勝硯生産販売協同組合、石巻市雄勝総合支所、東北工業大学を中心に委員会を発足しました。持続可能な方策や生産再生や商品開発、販路拡大や情報発信等の具体的な方向性を探り、地域の有形無形資源を再構築し復興に向けた「地域産業復旧・復興支援事業」として今年度は組合のホームページ作成や展示会開催、今後の活動をみすえた助成金獲得に向けて何度も集まりました。

東北工業大学岩崎俊一理事長に雄勝硯贈呈

東北工業大学と雄勝硯生産販売協同組合が連携し、復興大学が支援する形で、石巻市雄勝町および雄勝石産業の復興再生のための支援事業『雄勝石産業の復活を核とした生産とくらしの再生』（三井物産環境基金助成事業・復興大学地域復興支援ワンストップサービス事業協力支援）の開始、および学校法人東北工業大学「仙台城南高校開校記念モニュメント製作事業」に伴い、同組合澤村文雄理事長と千葉隆志事務局長が本学を訪ね、同組合の国指定伝統的工芸品「雄勝硯」を本学岩崎俊一理事長と宮城光信学長に記念品として贈呈しました。

J. プロジェクト 2013 開始

東北工業大学と同法人のもとにある仙台城南高等学校は校名を変更し、2013 年 4 月に新たにスタートしました。10 月の仙台城南高等学校開校式典に向け、雄勝石を用いたモニュメント制作の打ち合わせ「J. プロジェクト 2013」を行っています。久力誠校長をはじめとする高校の先生や生徒さん、雄勝硯生産販売協同組合、手しごと AKIU、小西造型、復興大学の方々が集まり、デザインや製作工程、また制作には雄勝石 924 枚が使用されるため、制作にあたって東日本大震災の教訓や被災地支援、歴史や過去を知り未来を語れるモノ、ミッションやメッセージの伝わるモノを残そうと考えております。

オープンレクチャー実施

今年度の安全安心生活デザイン学科フェア『震災復興と生活デザイン展～住まい・まち・くらし～』（一番町ロビーにて 5 月 10 日～ 15 日開催）は、震災後 2 年以上が経過する中での学科教員の様々な地域での復興支援や調査研究を紹介する展示会とオープンレクチャーを企画しました。

5 月 15 日は本プロジェクト代表の菊地良覺教授を中心に「雄勝いしのわプロジェクト『雄勝石産業の復活を核とした生産とくらしの再生』」についてのオープンレクチャーを実施しました。一般市民の方との意見交換や本プロジェクトを知っていただくことができました。

活動記録

2012

7/2　雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会ワーキング会議
7/16　雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会ワーキング会議
7/20　雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会（1）
雄勝総合支所
8/29　雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会ワーキング会議
9/21　雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会（2）
東北工大長町キャンパス
10/12　雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会（3）
東北工大一番町ロビー
9 月～ 三井物産環境基金申請に向けて打ち合わせを繰り返す
11/9　雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会（4）
おがつ店こ屋街硯組合事務所
11/16　雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会（5）
復興大学（アエル）
12/3　雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会（6）
東北工大一番町ロビー

CCJ クラフト見本市 2013

2013

1/24　雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会（7）
東北工大長町キャンパス
2/5　河北新報記事掲載　「復興願う硯箱セット」
2/6　CCJ クラフト見本市 2013 に出展
2/14　河北新報記事掲載「伝統芸能一堂に」
2/15　河北新報記事掲載「石巻の神楽上演　被災地と絆結ぶ」
2/15　河北新報記事掲載「雄勝硯　輪王寺に寄贈」
2/17　河北新報記事掲載「雄勝石で記念プレート」
2/20　J. プロジェクト 2013 会議（1）
2/25　雄勝石に係わる復興ビジョン検討委員会（8）
東北工大一番町ロビー
3/8　河北新報記事掲載「郷土芸能　復興の力に」
3/14　「みやぎの手しごと展 2013 ～雄勝石の復興を願い～」
3/17　河北新報記事掲載「雄勝の味（食べてみらいん）」
3/26　J. プロジェクト 2013 会議（2）
3/29　三井物産環境基金「雄勝石産業の復活を核とした生産と
くらしの再生プロジェクト」キックオフ会議
4/14　雄勝町　オーリンクハウス完成記念式典に出席
4/16　東北工業大学岩崎俊一理事長に雄勝硯贈呈
4/16　J. プロジェクト 2013 会議（3）
4/16　第 1 回雄勝いしのわプロジェクト実行委員会　東北工大一番町ロビー
4/25　河北新報記事掲載（石巻かほく）「新鮮、格安に市民笑顔」
4/26　「雄勝石産業の復活を核とした生産とくらしの再生プロジェクト」
ワーキング会議
4/27　雄勝法印神楽保存会会長（石巻地区伝統・伝承文化団体連絡
協議会会長）の伊藤博夫氏にヒアリング調査
4/28　桑浜・白銀神社にて春祭り（漁港での神輿渡御や御神楽奉納）調査
5/1　プロジェクトに対して河北新報による取材
5/4　立浜・北野神社にて春祭り（漁港での神輿渡御や御神楽奉納）調査
5/12　河北新報記事掲載　「愛するペット遺影を硯石に」
5/15　安全安心生活デザイン学科フェア（一番町ロビー開催）にて
「雄勝石産業を核とした生産とくらしの再生」オープンレクチャー

編集後記

2012 年度には雄勝硯生産販売協同組合、石巻市雄勝総合支所、復興大学、東北工業大学を中心に雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会を行ってきました。今後の雄勝地域の復興や再生に向けての活動を検討する中で助成金獲得を目指したところ、三井物産環境基金 2012 年度下半期活動助成（復興助成・3 年 6 ヶ月）を受けることとなりました。雄勝石産業を核として、地域内外、他産業、他支援研究団体等と協力して取り組んでまいります。

（伊藤美由紀）

雄勝いしのわプロジェクト
～雄勝石産業を核とした場づくり、モノづくり、人づくり～

発行元：東北工業大学
ライフデザイン学部　安全安心生活デザイン学科

〒982-8588　宮城県仙台市太白区二ツ沢 6 番
TEL: 022-304-5592　FAX: 022-304-5591
MAIL: info@ogatsu-ishinowa.jp　URL: http://ogatsu-ishinowa.jp/

＊本プロジェクトは「雄勝石産業の復活を核とした生産とくらしの再生」をテーマに
三井物産環境基金 2012 年度下半期活動助成（復興助成）の採択を受け活動を実施しています。